

(別紙2-1)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 3月14日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--|-------|------------|
| 事業所番号 | 4271200679 | | |
| 法人名 | 特定非営利活動法人 ハッピーネス福祉会 | | |
| 事業所名 | グループホーム琴の海 | | |
| 所在地 | 長崎県東彼杵郡東彼杵町蔵本郷884-1 (電話) 0957-47-0140 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ | | |
| 所在地 | 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号 | | |
| 訪問調査日 | 2008年3月10日 | 評価確定日 | 2008年3月27日 |

【情報提供票より】 (20年 3月 3日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | | |
|-------|--------|--------|---------|--------------|
| 開設年月日 | 昭和・平成 | 17年 | 4月 | 1日 |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 | 人 |
| 職員数 | 8 人 | 常勤 | 8人, 非常勤 | 人, 常勤換算 7.3人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|--------|-----------|
| 建物構造 | 木 造り | |
| | 1 階建ての | 1 ~ 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|-----------------|------------|------------|------------|-------|
| 家賃(平均月額) | 15,000 円 | その他の経費(月額) | 9,000+実費 円 | |
| 敷金 | 有(円) | (無) | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 200 円 | 昼食 | 400 円 |
| | 夕食 | 300 円 | おやつ | 100 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要 (3月 3日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 1 名 | 女性 | 8 名 |
| 要介護1 | 1 名 | 要介護2 | 1 名 | | |
| 要介護3 | 3 名 | 要介護4 | 3 名 | | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | - 名 | | |
| 年齢 | 平均 84.2 歳 | 最低 | 73 歳 | 最高 | 97 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-----------------------------|
| 協力医療機関名 | 長崎神経医療センター 鈴木病院 村岡歯科医院 山川医院 |
|---------|-----------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者自身の在宅介護経験により設立されたホームは、開放感があり、木の温かみを感じられる造りになっています。地域との交流も良好で、近隣の授産施設のパンの販売なども受け入れられています。看護師や栄養士、歯科衛生士など、家庭的な雰囲気の中に専門のスタッフが配置され、ご家族も安心されています。ご利用者一人ひとりにスポットをあてたイベントを実施されており、休みのスタッフも自主的に参加されるなど、全スタッフが「共に喜び、共に悲しむ」という理念を共有し、実践されています。スタッフ一人ひとりが目標を持って日々のケアに努められており、これからの取り組みにも期待ができるホームです。

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価結果を踏まえた改善に積極的に取り組まれています。</p> <p>前回の評価結果を踏まえ、理念の明示などの改善事例が見受けられ、今後の改善活動にも期待できます。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>課題の真の共有化を図る必要があります。</p> <p>今回の自己評価は、全スタッフでの取り組みには至っておりません。自己評価は項目一つひとつを点検していく過程が重要です。全スタッフで取り組むことによる課題の共有化および共通認識の上での改善活動を期待します。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>始まったばかりの状況で、これからの活動に期待します。</p> <p>第一回目が開催されたのみで、ホームの概要や活動について紹介された段階ですが、次回以降の開催予定(頻度)についても協議され決定されていますので、今後の活動には期待が持てます。評価結果を活用し課題を地域と共有するなど、今後の議題や継続的で積極的な取り組みに期待します。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ご家族の意見の聴取に努め、運営に反映されています。</p> <p>面会時のご家族への声かけにより意見を聴取するよう心掛けられています。ご家族の意見をホームの運営に反映した事例も確認できます。今後ともご家族の意見を運営に反映されるよう、継続しての取り組みを期待します。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域行事への参加や地域との交流に努められています。</p> <p>地域行事へ積極的に参加されており、管理者自ら地域の清掃活動に参加されるなど、地域で必要とされる活動や役割を担っていく努力が見受けられます。また入居者の散歩の際の近隣の方々の見守りなど、協力体制も築かれています。今後とも、地域との関わりについて継続した取り組みを期待します。</p> |

(別紙2-2)

2. 評価結果 (詳細)

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|----------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念の共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 住み慣れたところで、家庭的な雰囲気の中で、寄り添いながら「共に喜び、共に悲しむ」というホーム独自の理念を掲げ、実践に向けた取り組みが展開されています。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念は掲示され、カンファレンス時に理念を念頭においた話し合いが行われているとのことです。スタッフにも十分浸透していることがヒアリングやご利用者への接し方で確認できます。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内ふれあい祭りや花火大会、茶市などの地域行事に参加し、ホームとして出店もされています。また、地域の清掃活動にも経営者を中心に参加されています。地元の方々が慰問やボランティアとして活動しに来てくれる等、地域との交流が見られます。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 前回の評価結果を活かし、理念の掲示など様々な改善に取り組まれています。今回の自己評価については、管理者のみで記入されたとのこと。 | ○ | 自己評価については、事業所全体で取り組まれることにより課題等の真の共有化が図れます。今後は全てのスタッフで自己評価に取り組まれることを期待します。 |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|----------------------|---|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議については今年の3月から開催されており、ホームを理解していただくための内容が議事録により確認できます。 | ○ | 今後は、評価結果についての説明など議題を充実させ、地域を含めた課題の共有化に努められることを期待します。 また、議事録で確認できる今後の予定に従い開催されることも求められます。 |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 在宅介護を経験された家族の話を介護従事者向けに行いたいとの思いで管理者自ら働きかけ、社会福祉協議会主催の講演において、ご利用者家族の代表に講話いただき、町の担当者へ参加を促すなどの事例を含め、積極的な関係作りに努められています。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | ご利用者毎の状況は写真等を添付した月次報告書により定期的に報告されており、状況変化や医療機関受診の際には、電話での連絡が行われています。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 面会時の声かけなどにより意見聴取への働きかけが行われており、対応されています。リビングのカーテンや大きなテレビの設置など、ご家族の意見を運営に反映された事例も聴取できます。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 管理者を含めたスタッフ間のコミュニケーションが良好で、退職者も少ないようです。働く目的をスタッフ間で共有し、勤務希望に柔軟に対応される姿勢がスタッフの離職を最小限に抑えることにつながっているようです。 | | |


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|----------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 受講料のホーム負担や勤務扱いでの受講等、外部研修受講を推奨する姿勢がうかがえ、報告書の提出やカンファレンス時の発表により共有化にも努められています。また、目標管理制度に取り組みされており、スタッフ一人ひとりの育成に向けた活動が行われています。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 連絡協議会などにより、ホーム長レベルでの他のホームとの交流及び意見交換が行われています。 | ○ | ホーム長レベルに止まらず、スタッフによるホーム間の相互見学など積極的な取り組みにより、質の向上やスタッフのスキルアップにつなげる活動を推奨します。 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前のホーム見学にも対応されていますが、医療機関退院後すぐに利用に結びつくケースが多いとのこと。入居直後は家族との連絡を密にし、馴染まれるまで相談しながら対応されています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | スタッフは、ご利用者と共に喜びや悲しみを分かち合い共感できるよう心掛けているとのこと。訪問調査時は、利用者同士の助け合いの場面も見受けられました。スタッフ自身も利用者から元気をもらえると話されています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の関わりの中で声をかけ、意思疎通が困難な方には、ご家族から情報を得たり、表情や反応等も重要な要素と捉えて意向の把握に努められており、カンファレンス時にスタッフ間の共有が図られています。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 日々の関わりの中で聴取したご利用者やご家族からの情報、スタッフの気付きなどについてカンファレンスで検討され、介護計画が策定されています。また、ご家族による介護計画書の同意についても確認できます。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヵ月ごとに、介護計画について見直しが行われています。しかし、ご利用者の状態変化があった場合の対応は口頭のみで共有され、介護計画の変更は次の見直し時に行われています。 | ○ | 状況変化時の介護計画の見直しは、随時介護計画に反映させ、ご家族・スタッフ間で共有されることが望まれます。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | ご利用者やご家族の状況に応じて、通院介助や外食支援など柔軟な支援が行われています。また誕生会は、本人や参加されるご家族の要望に合わせて、その内容や開催日を決められるなどの柔軟性も見受けられます。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医はご利用者等の希望により選定され、受診結果については個人ファイルに保管されており、電話や訪問時の説明及び月次報告書によりご家族と共有されています。また、医師へのデータ提供や状況報告も行われています。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化や終末期に関する対応については、出来る限り希望に添うといった方針であり、入居後落ち着かれてから説明が行われていますが、ご家族の意見が定まらないことが多いとのこと。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 言葉遣いや対応などご利用者のプライドに対する配慮は見受けられます。個人情報の漏洩防止などへの取り組みもうかがえます。しかし、個人情報保護法への対応は十分な状況とは言えません。 | ○ | 個人情報保護についての規程の整備など、早期対応が求められます。また、個人情報保護法についてスタッフ全員の理解を深めるための取り組みを推奨します。 |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な一日の流れはありますが、就寝時間や起床時間、食事時間はご利用者のペースに感じられています。また、状態に応じて部屋での食事や嗜好品の購入等、柔軟に対応されています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備などは、ご利用者の状態に応じて、協働されています。食事中は、スタッフが同じ食事を同じテーブルで食し、支援が必要なご利用者対応も行われています。また、なるべく自力で食べられるように、器や形状について工夫も見受けられます。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴について曜日や時間帯が設定されていますが、希望に応じて柔軟な対応が可能とのことです。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 個々の能力や生活歴に合わせて、料理の下ごしらえや配膳が行われています。また、CDや本、新聞を準備され、気晴らしの支援も行われています。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天候に配慮した上で、日常的に外の空気に触れることを心掛けておられます。また、一人での散歩を好まれる方にはGPS機能がついた器具を首にかけてもらい、一人で外出できるように対応されています。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中の施錠はなく、ご利用者の外出には、癖や傾向を把握し対応されています。また、地域への協力依頼も行われています。安全面から玄関にセンサーが設置されていますが、音量に配慮されています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|------|---|--|----------------------|--|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年2回、昼夜を想定し火災訓練を実施されています。消防署による避難訓練や指導も受けられています。また、地域への協力依頼も行われています。 | ○ | 食料品等の備蓄や必要品の準備など、様々な災害を想定し常備することについて検討されることを推奨します。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 献立については、栄養士が作成され、バランスなどについて専門家の視点で検討されています。嚥下状態や食事量の個別対応にも配慮されています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用スペースは全体的に明るく、中庭の花を眺めることができます。壁にはご利用者の写真や絵、スタッフの手作りカレンダーが飾られています。ご利用者が、いつでも楽しめるよう書籍なども置かれています。食事の準備の時から、食事の匂いが広がり、ご利用者の食欲に刺激を与えているようです。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室の名札は各担当者が工夫して作成されています。持ち込み品には、特に制限を設けられておらず、ご家族と相談され馴染みのものを持ってきて頂くよう働きかけも行われているとのことです。居室ではテレビ、家具、ラジオ等の持込が確認できます。 | | |

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票を添付すること。